

大阪市人権行政推進計画～人権ナビゲーション～に基づく 「人権の視点！１００！」実行プログラム評価シート		
所属名		副首都推進局
※日付入力→		令和7年3月28日 現在
④ 実施年度	② 担当課名（担当者名）	③ 電話番号
6 年度	総務担当（窪）	6208-9514
実行プログラム（人権尊重の視点からの行政運営を推進するための取組み）について		
④ プログラムの名称	職員の人権尊重の意識向上	
⑤ プログラムの概要（実施者、対象者、場所、時期、内容など）	策定時（当初目標）	実施結果（実施後）
	【実施者】 副首都推進局職員 【対象者】 所属全職員 【内容】 ・可能な限り局の業務に関連した人権課題に関する周知・啓発を実施する。 ・人権問題について、職員の理解度向上を目的に周知・啓発を実施する。	※当初目標どおりプログラムを実施 【実施者】 副首都推進局職員 【対象者】 所属全職員 【内容】 ・局の業務に関連した人権課題に関する周知・啓発を実施。 ・人権問題について、職員の理解度向上を目的に周知・啓発を実施。
⑥ 行動（行為）目標／ 行動（行為）実績	・年２回（上半期・下半期に１回ずつ）総務担当から所属職員に対し周知・啓発を行うが、ほかの人権研修とテーマや受講期間が重ならないよう、すみわけを意識して実施する。 ・同時にアンケートを実施し、取り上げたテーマについて理解している職員の割合を80％以上にする。	・年２回（上半期・下半期に１回ずつ）総務担当から所属職員に対し周知・啓発を行った。 ・どちらについても、アンケートにおいて、80％以上の職員から「よく理解できた」又は「ある程度理解できた」と回答があった。
⑦ 期待していた効果／ 実施後に判明した効果	・人権に対する理解を深め、人権尊重の意識向上を図ることが期待できる。	・上記アンケート結果のとおり、人権に対する理解が深まり、人権尊重の意識向上を図ることができた。
⑧ 実施経過		
※策定時の実施スケジュールではなく、実績ベースで記載してください。 ※行の追加・削除はご遠慮ください（着色セルの拡大・結合は可）		
上半期	4月	
	5月	
	6月	
	7月	
	8月	
	9月	・総務担当から所属全職員に対し、「外国人と人権」をテーマにした人権課題について動画により周知・啓発を行った。（アンケート含む）

下 半 期	10月						
	11月						
	12月						
	1月						
	2月	・総務担当から所属全職員に対し、「インターネット上の人権」をテーマにした人権課題について動画により周知・啓発を行った。（アンケート含む）					
	3月						
⑨ 市民・職員からの意見・感想など		○職員アンケート結果（よく理解できた又はある程度理解できた） 第1回（9月）：83%（対象者数：54名） 第2回（2月）：96%（対象者数：51名）					
⑩ 実施により強化できた「人権の視点！100！」の項目 ※プルダウン選択		伝える	聴く・知る	備える	支える	つながる	務める
		（情報公開・広報）	（広聴）	（環境整備）	（行政サービス）	（協働）	（事業者としての責任）
		○	○				○
策定時		○	○				
実施後		○	○				
⑪ 策定時と実施後の評価を比較して上記のように分析した理由		各回次ごとに行ったアンケートへの回答者のほとんどが、「よく理解できた」又は「ある程度理解できた」と回答し、当初目標どおりプログラムの実施により、職員の理解・促進が図られた。					
⑫ 項目別評価 ※プルダウン選択							
取組み内容		以下は、「人権の視点！100！」を踏まえた事業や取組みとして、「人権尊重の視点からの行政運営」を推進するためのものとなっていたかという点で、					
		△ 取組み例というレベルには達しなかった					
効果の程度		以下は、人権尊重の視点からの課題の解決、行政運営の実現にあたり、達成目標が明確であり、その効果が広く市民サービスの向上等に効果があったかという点で、					
		○ 期待していたとおりの効果があった					
推進体制		以下は、策定した実行プログラムを遂行できる推進体制、進捗管理及び成果の検証方法が確立できていたかという点で、					
		○ 遂行に支障のない程度の推進体制だった					
わかりやすさ		以下は、取組みの進捗状況や成果が、市民や職員にわかりやすく伝わったかという点で、					
		○ おおむねわかりやすく伝わった					
普及性		以下は、取組み結果が特定の市民に有効なものではなく、検証や改善により幅広い市民や他の所属でも普及又は応用が可能なものであったかという点で、					
		○ 所属内の他の業務には普及又は応用できる					
費用対効果		以下は、取組みのためにかかった費用又は職員の時間や負担に対して明確な効果があったかという点で、					
		○ 期待していたとおりの効果があった					

評価の総括 ※所属人権行政推進委員会等として記入してください。

⑬ 実行プログラム全体を通して「人権尊重の視点」から評価できるところ	・全体を通じて、職員の人権意識の向上や知識の蓄積を図ることができた。
⑭ 実行プログラム全体を通しての反省点	(1)下半期の取組が、所属別人権問題研修等と時期が重なってしまった。 (2)人権行政推進本部事務局（市民局）から全所属に対して、R6は多くの所属で単なる周知・啓発や研修にとどまった取組になっているが、日常業務を改善・見直しする取組とするよう指摘があり、当局の取組もその観点から見直す必要がある。
⑮ 今回の評価結果を踏まえて所属の業務又は次期実行プログラムを改善するところ	R6年度の反省点等を踏まえ、日常業務（万博を契機として増大する広報業務を中心に）を改善・見直しする取組みに見直す。
⑯ 人権行政推進委員会等委員長（所属長）のコメント	「人権の視点！100！」の取組みについて、所属全職員に周知・啓発を徹底するとともに、人権問題への対応体制を維持できるよう、次年度以降の取組みの検討をお願いしたい。